

H30.2.6 東淀川区区政会議（仮）教育・子育て部会 学習会 議事概要

※枠内は委員意見、枠外は区役所職員

日時・場所 平成30年2月6日(火)午後7～9時。東淀川区役所3階304会議室

出席者 (仮)教育・子育て部会委員4名、他部会委員1名、大阪府議會議員1名

議題1 平成30年度東淀川区運営方針（素案）について

戦略2-2「すべてのこどもが「生きる力」を身に付ける「子育て」、「共育のまち」

戦略の概要、各具体的取組の内容、課題などについて説明

(A班)

○朝食について、「お腹が空いていない」ではなく「用意されていない」「食べる習慣がない」というのは、かなりショッキングな結果。

○ゲームに時間を費やして夜更かしする子も多い。夜遅くまで起きていると朝までリズムも狂ってしまう。

○どうしたら読書を好きになるのか。習慣づけることが大切。読み聞かせ事業もある。

○実際学校に行くと「本が嫌い」とは感じない。いいきっかけを与えてあげられたら持続するのでは。

○読み聞かせも、親がずっとやるというのはしんどい時もある。地域にお手伝いいただけたら

○子どもは感性を持っているから、それを呼び起こすのは大人の役目。本を読む姿を見せるとか、大人の行動・関わり方が大事

- ・ただ地域に絵本をとるばかりでなく、絵本が嫌いじゃないけどちょっと敷居が高いなど感じている人にアプローチしたい
- ・演劇鑑賞ならホールで一度に大人数が鑑賞できる。

(B班)

○生活環境の習慣づけは小学校・中学校からでは遅い。幼少期に根がある。

○虫歯の検査状況等も生活環境を見る一つの目安にもなるが、プライバシーに関することは個人レベルでは聞けないし、公的機関には個人情報保護の義務がある。

○「自分の家庭では偏った食事をとっているが、本当はバランスよいご飯を食べるのが当たり前」というのを子ども自身が身につけられるよう気づく機会づくりが大切。

○学校体育施設開放事業等で、学校施設の一部を地域利用に供するまでの時間を活用して、こどもの集まる場づくりを。ボランティアで何かできないか。

○中学生勉強会はマンツマンで就学まで対応し一番成果が上がっている。ただ対象者が限られすぎ。

○学力面は、学習内容が難しくなる小学校高学年で追いつけなくなる。本当は中学生でなく小学生を何とかしないと。

- ・今回4～5歳児の訪問に続いて、登校・登園のサポートについても区として事業に取り組んでいく。生活習慣がついていない子には早い段階で、保育所や小学校低学年の時に学校が楽しい、行ったら自分のためになるということを身につけてもらえば、小学校～高校の不登校や中退を防げるのではないか。

- ・ 保育所の時は毎日先生と会いお便り帳や話ができるが、小学校では先生がこどものことで保護者と日常的に対面して話をする機会が一気に減る。始めからセーフティネットで将来を見据えて習慣をつける。

(議員より) こどもの貧困問題について活動している。社会的にも個人的にも損失。地域での学習支援や子ども食堂などぜひ続けていただきたい。府民や企業からの寄付などの基金を使って貧困対策に活かしていきたい。区政会議で情報をいただいている。